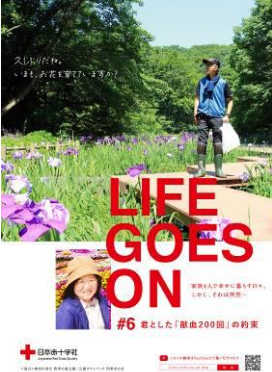


令和7年度献血推進計画における県及び血液センターの取組状況

令和7年度献血推進計画	取組状況																																																						
<p>本計画は、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（昭和31年法律第160号）の規定に基づき定める「血液製剤の安全性の向上及び安定供給の確保を図るための基本的な方針」（平成31年厚生労働省告示第49号、令和6年厚生労働省告示第153号一部改正）及び「令和7年度の献血の推進に関する計画」（令和7年2月28日厚生労働省告示第43号）に基づき、次のとおりとする。</p> <p><b>1 献血目標</b></p> <p>令和7年度に目標とする献血量は全血献血で88,902リットル、血小板成分献血で20,221リットル、血漿成分献血で45,685リットルの合計154,808リットルとし、確保すべき献血者数等の目標の内訳を次のとおりとする。</p> <p>内訳</p> <table border="1" data-bbox="237 871 1061 1278"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>献血量（L）</th> <th>献血者数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">全血献血</td> <td>200mL献血</td> <td>986</td> <td>4,931</td> </tr> <tr> <td>400mL献血</td> <td>87,916</td> <td>219,789</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>88,902</td> <td>224,720</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成分献血</td> <td>血小板</td> <td>20,221</td> <td>37,621</td> </tr> <tr> <td>血漿</td> <td>45,685</td> <td>80,318</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>65,906</td> <td>117,939</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>154,808</td> <td>342,659</td> </tr> </tbody> </table>			献血量（L）	献血者数（人）	全血献血	200mL献血	986	4,931	400mL献血	87,916	219,789	小計	88,902	224,720	成分献血	血小板	20,221	37,621	血漿	45,685	80,318	小計	65,906	117,939	合計	154,808	342,659	<p>●：県 ○：血液センター ◎：県・血液センター合同、市町村、国</p> <p>○ 献血状況（令和7年12月末現在）</p> <p>全血献血 66,616 L（達成率 74.9%）          血小板成分献血 19,006 L（達成率 94.0%）          血漿成分献血 33,222 L（達成率 72.7%）</p> <p>内訳</p> <table border="1" data-bbox="1227 871 2013 1286"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>献血量（L）</th> <th>献血者数（人）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">全血献血</td> <td>200mL献血</td> <td>1,725</td> <td>8,626</td> </tr> <tr> <td>400mL献血</td> <td>64,891</td> <td>162,227</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>66,616</td> <td>170,853</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成分献血</td> <td>血小板</td> <td>19,006</td> <td>30,767</td> </tr> <tr> <td>血漿</td> <td>33,222</td> <td>59,523</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>52,228</td> <td>90,290</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>118,844</td> <td>261,143</td> </tr> </tbody> </table>			献血量（L）	献血者数（人）	全血献血	200mL献血	1,725	8,626	400mL献血	64,891	162,227	小計	66,616	170,853	成分献血	血小板	19,006	30,767	血漿	33,222	59,523	小計	52,228	90,290	合計	118,844	261,143
		献血量（L）	献血者数（人）																																																				
全血献血	200mL献血	986	4,931																																																				
	400mL献血	87,916	219,789																																																				
	小計	88,902	224,720																																																				
成分献血	血小板	20,221	37,621																																																				
	血漿	45,685	80,318																																																				
	小計	65,906	117,939																																																				
合計	154,808	342,659																																																					
		献血量（L）	献血者数（人）																																																				
全血献血	200mL献血	1,725	8,626																																																				
	400mL献血	64,891	162,227																																																				
	小計	66,616	170,853																																																				
成分献血	血小板	19,006	30,767																																																				
	血漿	33,222	59,523																																																				
	小計	52,228	90,290																																																				
合計	118,844	261,143																																																					

令和7年度献血推進計画	取組状況
<p>2 前項の目標を確保するために必要な措置</p> <p>(1) 献血に関する普及啓発活動の実施</p> <p>ア 若年層に対する普及啓発活動の実施</p> <p>県、市町村、日本赤十字社神奈川県支部（以下「日赤県支部」という。）及び神奈川県赤十字血液センター（以下「血液センター」という。）は連携を図り、若年層の献血や血液製剤に関する理解の促進に取り組む。</p> <p>(ア) 動画、SNS等を活用した広報</p> <p>県、市町村及び血液センターは、「献血はいのちを救う」というメッセージを若年層が親しみやすい動画やSNS、ホームページ等の広報手段を用い、気軽に目に触れる機会を増やして発信し、献血への行動につなげる効果的な広報を展開する。</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Youtube、デジタルサイネージ、ホームページ等による動画の放映</li> <li>・ Facebook、X（旧Twitter）を活用したイベント情報提供</li> </ul>	<p>○ 動画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 啓発動画「LIFE GOES ON #6 君とした『献血200回』の約束」 （妻が輸血を受けた男性の実話を通じて、献血の重要性を周知する内容） 血液センターYouTubeで公開、ホームページ・SNSで周知 高等学校等の献血セミナー・協力団体等での放映</li> </ul>  <p>○ SNSにおける情報発信の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ X（旧Twitter）やFacebookに加え、若年層に普及しているInstagramで積極的に投稿し、若年層が献血に親しみを持てるよう取り組んだ。</li> <li>・ 非フォロワーの閲覧率が高いショート動画投稿を複数発信した。</li> <li>・ トレンドを意識した画像加工や投稿に統一感を持たせるためブランドテンプレートを使用した。</li> <li>・ 若年層を主な対象としたSNSキャンペーンを実施した。</li> <li>・ Xの独自アカウントを持っている6つの献血ルームでは、予約状況の情報発信および地域性のある投稿により献血者確保につなげた。</li> </ul>

令和7年度献血推進計画	取組状況																																
<p>(イ) 生徒・学生に対する普及啓発</p> <p>血液センターは、県及び市町村と連携し、献血の大切さや助け合いの心について啓発する献血セミナーを実施するほか、献血可能年齢になる高校生以上の生徒・学生に対する普及啓発を推進する。</p> <p>また、献血セミナー等をきっかけとして献血に関心を持った献血未経験者等に、献血Web会員サービス『ラブラッド』への登録を働きかける。</p> <p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校、高等学校等における献血セミナーの実施</li> <li>・ 協力が得られる高等学校、大学等での献血の実施</li> <li>・ 高校生に対する啓発資料の配布</li> <li>・ 大学連携ポータルサイトを活用した情報発信</li> </ul>	<p>X投稿数 : 2,584投稿 (前年同期間: 2,606投稿)</p> <p>Facebook投稿数 : 222投稿 (前年同期間: 232投稿)</p> <p>Instagram投稿数 : 216投稿 (前年同期間: 174投稿)</p> <p>※投稿数は令和7年4月～12月までの期間を集計</p> <p>※Xの投稿数は、血液センターおよび各献血ルームの合算</p> <p>○ 献血セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 献血セミナー、職業体験等実施状況</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1272 678 1973 922"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施数</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和7年度 (12月末現在)</td> <td>191か所</td> <td>4159人</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>249か所</td> <td>5197人</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>146か所</td> <td>4507人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 高校献血の実施状況 (校内実施分)</p> <table border="1" data-bbox="1272 1086 1973 1369"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施数</th> <th>配車台数</th> <th>献血者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和7年度 (12月末現在)</td> <td>6校</td> <td>9.5台</td> <td>417人</td> </tr> <tr> <td>(今後の予定)</td> <td>2校</td> <td>4.5台</td> <td>161人</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>8校</td> <td>14.5台</td> <td>603人</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>7校</td> <td>14.5台</td> <td>626人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実施数	参加人数	令和7年度 (12月末現在)	191か所	4159人	令和6年度	249か所	5197人	令和5年度	146か所	4507人	年度	実施数	配車台数	献血者数	令和7年度 (12月末現在)	6校	9.5台	417人	(今後の予定)	2校	4.5台	161人	令和6年度	8校	14.5台	603人	令和5年度	7校	14.5台	626人
年度	実施数	参加人数																															
令和7年度 (12月末現在)	191か所	4159人																															
令和6年度	249か所	5197人																															
令和5年度	146か所	4507人																															
年度	実施数	配車台数	献血者数																														
令和7年度 (12月末現在)	6校	9.5台	417人																														
(今後の予定)	2校	4.5台	161人																														
令和6年度	8校	14.5台	603人																														
令和5年度	7校	14.5台	626人																														

令和7年度献血推進計画

取組状況

○ 高校生への啓発チラシ配布

・ 県立・私立・横浜市立・横須賀市立高校の全学年生  
計226校の約189,393人に

啓発チラシを配布（10月）

12月末現在、774名が、献血ルームでの献血に協力



イ 幼少期の子どもとその保護者を対象とした普及啓発活動の実施

県及び血液センターは、子どもの頃から献血に触れ、献血の大切さを知ってもらうため、親子で一緒に献血に触れ合えるよう、血液センター等を活用した啓発を行う。

また、血液センターは、小さな子どもがいても献血に協力したいというニーズに応えるための事業を実施し、県はそうした取組に協力する。

【取組内容】

- ・ キッズ献血の実施
- ・ 「お子様見守りサービス」の実施及び拡充、広報

○ キッズ献血の実施

8月16日（土）トレッサ横浜 子ども378名、保護者481名 計859名参加

- (1) 献血の疑似体験
- (2) 遠心分離機を使用し、血液成分を分離する工程を疑似体験
- (3) 献血の大切さを学べるパネルの展示
- (4) 医師や看護師の衣装を着て、記念撮影
- (5) 保護者の献血姿の見学（献血バス内）

※県職員3名が応援スタッフとしてイベント運営に従事

○ miniキッズ献血の実施

8月3日（日）イオンモール大和 中学生以下を対象に131名が参加

・ イオンモール大和店が開催するお仕事体験イベントに参加

令和7年度献血推進計画

取組状況

ウ 神奈川県学生献血推進連盟との協力活動

県及び血液センターは、献血推進活動を行うボランティア組織である神奈川県学生献血推進連盟と協力し、若年層に献血の大切さを積極的に周知する。

【取組内容】

- ・キッズ献血（献血疑似体験イベント）への運営協力依頼
- ・ハロウィン、クリスマス時期の献血会場等での献血の呼びかけを依頼

- ・血管探しゲーム、疑似献血体験、供給車展示
- ・けんけつちゃんとの写真撮影（子供用の看護師服や災害救護服着用）
- ・献血に必要性や血液の豆知識等についてパネルを展示
- ・献血も同時開催（採血車が見える位置で実施）

○ 神奈川県学生献血推進連盟による献血推進活動

活動実績 イベント数 10回、延べ人数 93人

※献血会場での呼びかけ・イベント協力



学生が力を合わせて献血PR

左上 7/5とどろきスタジアム・中上 8/16トレッサ横浜・右上 10/13新都市プラザ  
左下 10/12桜木町前・下中 右下 12/13センター北駅前

令和7年度献血推進計画	取組状況
<p>エ 企業等における献血の推進</p> <p>(ア) 企業・団体に対する取組の推進</p> <p>血液センターは、県及び市町村と連携し、献血に協力していただける企業や団体を募り、その社会貢献活動の一つとして、集団献血の実施を含む企業等における献血の推進を促す。</p> <p>(イ) 献血バス日程の広報</p> <p>市町村及び血液センターは、地域における移動採血車の配車日程を広報し、効果的に献血が行われるよう住民に情報提供を行う。</p>	<p>○ 企業や団体の所属する上部団体への働きかけ 生命保険協会神奈川県協会による献血協力</p> <p>○ 献血協力企業・団体の開拓 [献血推進計画『献血推進2025』安定的集団献血の確保] 令和7年度（神奈川県内）協力企業団体数 682団体</p> <p>新規開拓数 26会場</p> <p>新規実施会場例：オーシャンゲート みなとみらい・アピタ 横浜綱島店・アマゾン ジャパン 都筑DS・たまプラーザ駅南口・横須賀市立総合医療センター・大林寺山水閣・湘南鎌倉医療大学・ソレイユの丘・マツダ R&amp;Dセンター横浜・宮前平駅・横浜銀行・ジャパン マリンユナイテッド・ゆめが丘ソラトス・浦賀行政センター・リコージャパン川崎西口事業所・HAYAMA STATION・小田原三の丸ホール・アマゾンジャパン合同会社 相模湖FC・イトーヨーカドー大和鶴間店・第一生命新大井事業所・シェルブルリカンツジャパン株式会社技術研究所・ビオトピア・湘南慶育病院 他</p> <p>● 企業団体会報誌への寄稿 『薬壺（神奈川県薬剤師会会誌）』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年 7・8月号 愛の血液助け合い運動</li> <li>・令和8年 1・2月号 はたちの献血キャンペーン</li> </ul>

令和7年度献血推進計画	取組状況																																															
<p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村のホームページ、広報紙等による情報提供</li> </ul> <p>(ウ) 職員献血の実施</p> <p>県及び市町村は、各職員に対して、献血への積極的な協力を呼びかけるとともに、献血しやすい環境作りを推進する。</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>職員献血の実施</li> </ul> <p>オ 複数回献血の推進</p> <p>血液センターは、複数回献血者の継続的な協力が得られるよう、献血Web会員サービス『ラブラッド』のWeb会員の増強を図り、Webサービスを用いた依頼要請により予約献血など効果的な取り組みを行う。</p> <p>県は、複数回献血につながるような取り組みを関係機関と連携して行</p>	<p>○ 献血バス配車日程の広報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>神奈川新聞への配車日程の掲載</li> <li>血液センターHPでの配車日程の掲載</li> </ul> <p>◎市町村が発行する広報誌・ホームページ等に配車日程を掲載 相模原市、厚木市、小田原市、平塚市</p> <p>◎職員献血の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県職員献血の実施</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>令和7年5月22日</td> <td>受付者数</td> <td>43人</td> <td>献血者数</td> <td>40人</td> </tr> <tr> <td>令和7年5月23日</td> <td>受付者数</td> <td>48人</td> <td>献血者数</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>令和7年8月14日</td> <td>受付者数</td> <td>35人</td> <td>献血者数</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>令和7年8月15日</td> <td>受付者数</td> <td>66人</td> <td>献血者数</td> <td>64人</td> </tr> <tr> <td>令和8年1月14日</td> <td>受付者数</td> <td>46人</td> <td>献血者数</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>令和8年1月15日</td> <td>受付者数</td> <td>58人</td> <td>献血者数</td> <td>54人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>市区町村の実績（合算）</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>令和7年4月1日～12月31日</td> <td>受付者数</td> <td>6,235人</td> <td>献血者数</td> <td>5,486人</td> </tr> </table> <p>●職員献血の実施について、県公式X（旧Twitter）やミビョーマン（健康増進課公式X）と連携して情報提供</p> <p>○ 献血Web会員サービス「ラブラッド」</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和7年12月末現在</td> <td>（令和6年12月末時点）</td> </tr> <tr> <td>・Web会員数</td> <td>420,219人</td> <td>(397,540人)</td> </tr> <tr> <td>・成分献血予約率</td> <td>95.0 %</td> <td>(95.1%)</td> </tr> <tr> <td>・全血献血予約率</td> <td>45.2 %</td> <td></td> </tr> </table>	令和7年5月22日	受付者数	43人	献血者数	40人	令和7年5月23日	受付者数	48人	献血者数	42人	令和7年8月14日	受付者数	35人	献血者数	33人	令和7年8月15日	受付者数	66人	献血者数	64人	令和8年1月14日	受付者数	46人	献血者数	42人	令和8年1月15日	受付者数	58人	献血者数	54人	令和7年4月1日～12月31日	受付者数	6,235人	献血者数	5,486人		令和7年12月末現在	（令和6年12月末時点）	・Web会員数	420,219人	(397,540人)	・成分献血予約率	95.0 %	(95.1%)	・全血献血予約率	45.2 %	
令和7年5月22日	受付者数	43人	献血者数	40人																																												
令和7年5月23日	受付者数	48人	献血者数	42人																																												
令和7年8月14日	受付者数	35人	献血者数	33人																																												
令和7年8月15日	受付者数	66人	献血者数	64人																																												
令和8年1月14日	受付者数	46人	献血者数	42人																																												
令和8年1月15日	受付者数	58人	献血者数	54人																																												
令和7年4月1日～12月31日	受付者数	6,235人	献血者数	5,486人																																												
	令和7年12月末現在	（令和6年12月末時点）																																														
・Web会員数	420,219人	(397,540人)																																														
・成分献血予約率	95.0 %	(95.1%)																																														
・全血献血予約率	45.2 %																																															

令和7年度献血推進計画	取組状況
<p>う。</p> <p>カ 献血推進キャンペーン等の実施</p> <p>(ア) 献血推進キャンペーン</p> <p>県、市町村及び血液センターは、国が全国的に実施する「愛の血液助け合い運動」（7月）、「はたちの献血キャンペーン」（1～2月）において、献血や血液製剤に関する理解と献血への協力を呼びかける。</p> <p>【取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポスター等の啓発資材を関係機関等へ配布</li> <li>(イ) 効果的な広報手段を活用した取組</li> </ul> <p>県、市町村及び血液センターは、様々な広報媒体の活用やイベントの実施等を通じて、血液製剤の重要性、献血をとりまく諸課題を踏まえた現状、血液製剤の利用実態等に関する情報を提供するなど、県民に対して献血への理解と協力を呼びかける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 複数回献血と薬局の健康相談の普及を促進するための啓発イベント（けんけつ健康相談薬局事業）を開催 実施主体：神奈川県赤十字血液センター、海老名献血ルーム、神奈川県薬剤師会、海老名市薬剤師会、厚木市薬剤師会、大和・綾瀬薬剤師会、神奈川県 協力薬局：計70店舗</li> <li>● ポスターの配布 <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛の血液助け合い運動 令和7年7月1日～31日 1,510枚</li> <li>・はたちの献血キャンペーン 令和8年1月1日～2月28日 1,510枚</li> </ul> </li> </ul> <p>※キャンペーンごとに県及び血液センターのホームページによる広報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 『薬壺（神奈川県薬剤師会会誌）』（再掲） <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年 7・8月号 愛の血液助け合い運動</li> <li>・令和8年 1・2月号 はたちの献血キャンペーン</li> </ul> </li> <li>● 県広報ラジオ番組「KANAGAWA Muffin」令和8年1月24日</li> <li>○ 血液センターX、Facebook、Instagramを活用した情報提供</li> <li>○ 愛の献血助け合い運動 ポスター掲示協力状況 京浜急行電鉄株式会社・江ノ島電鉄株式会社・湘南モノレール株式会社・株式会社小田急箱根・横浜市立みなと赤十字病院・秦野赤十字病院・相模原赤十</li> </ul>

令和7年度献血推進計画	取組状況
	<p>           字病院・東海大学病院・北里大学病院・藤沢市民病院・海老名総合病院・湘南藤沢徳洲会病院・相模原協同病院・総合病院伊勢原協同病院・平塚共済病院・湘南鎌倉総合病院・聖マリアンナ医科大学病院・横浜市立大学附属市民総合医療センター・川崎幸病院・横浜市立大学附属病院・横浜市立市民病院・横須賀共済病院・済生会横浜市東部病院・昭和大学藤が丘病院・横浜南共済病院・済生会横浜市南部病院・横浜労災病院・新百合ヶ丘総合病院・神奈川県立がんセンター・昭和大学横浜市北部病院・関東労災病院・聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院・国立病院機構 横浜医療センター・日本医科大学武蔵小杉病院・虎の門病院分院・帝京大学医学部付属溝口病院         </p> <p>           ○はたちの献血キャンペーン         </p> <p> <b>【CM放送協力状況】</b> </p> <p>           1. 一般社団法人日本民間放送連盟加盟局         </p> <p>           (1) テレビ         </p> <p>               株式会社テレビ神奈川         </p> <p>           (2) ラジオ         </p> <p>               横浜エフエム放送株式会社         </p> <p>               株式会社アール・エフ・ラジオ日本         </p> <p>           2. 一般社団法人日本コミュニティ放送協会加盟局         </p> <p>               逗子・葉山コミュニティ放送株式会社・株式会社湘南平塚コミュニティ放送・横須賀エフエム放送株式会社・鎌倉エフエム放送株式会社・藤沢エフエム放送株式会社・かわさき市民放送株式会社・株式会社エフエムさがみ・大和ラジオ放送株式会社・横浜コミュニティ放送株式会社・FM小田原株式会社・株式会社エフエム戸塚・学校法人国際学園・株式会社横浜マリンエフエ         </p>

令和7年度献血推進計画	取組状況
<p>(ウ) 献血協力企業・団体への表彰  県及び日赤県支部は、長年にわたり献血に協力していただいている企業・団体に対して表彰を行う。</p>	<p>ム</p> <p>【ポスター掲示協力状況】</p> <p>(1) 一般社団法人日本民営鉄道協会加盟会社、  湘南モノレール株式会社  箱根登山鉄道株式会社  江ノ島電鉄株式会社  京浜急行電鉄株式会社</p> <p>(2) その他の企業・団体  東海大学病院・北里大学病院・藤沢市民病院・海老名総合病院・湘南藤沢徳洲会病院・相模原協同病院・総合病院伊勢原協同病院・平塚共済病院・湘南鎌倉総合病院・聖マリアンナ医科大学病院・市大センター病院・（石心会）川崎幸病院・横浜市立大学附属病院・横浜市立市民病院・横須賀共済病院・済生会横浜市東部病院・昭和大学藤が丘病院・横浜南共済病院・済生会横浜市南部病院・横須賀市立総合医療センター・横浜労災病院・新百合ヶ丘総合病院・県立がんセンター・昭和大学横浜市北部病院・関東労災病院・聖マリアンナ医大西部病院、国立病院機構横浜医療センター・日本医科大学武蔵小杉病院・虎の門病院分院・帝京大学医学部付属溝口病院</p> <p>● 献血推進功労者知事表彰  知事表彰状 18団体  ※表彰式 令和7年12月9日実施</p>

令和7年度献血推進計画	取組状況
<p><b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県知事賞</li> <li>・県保健福祉事務所長賞</li> <li>・日赤県支部長表彰</li> </ul> <p>(2) 献血推進協議会の開催</p> <p>県は、献血や血液製剤に関する県民の理解と献血への協力を求め、血液事業の適正な運営を確保するため、協議会を開催する。また、献血推進計画の策定、献血や血液製剤に関する教育、啓発の検討等について、採血事業者及び血液事業に関わる民間組織等との連携強化を図る。</p> <p>(3) 献血の推進に際し、考慮すべき事項</p> <p>ア 献血会場の提供</p> <p>県及び市町村は、移動採血車による日程を血液センターと協議し、献血会場として公共施設を提供するなど、献血の受入れが円滑に行われるよう必要な措置を講じる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 保健福祉事務所長表彰 保健福祉事務所長表彰状 11団体</li> <li>○ 日赤表彰58団体</li> <li>◎ 厚生労働省大臣表彰状・感謝状（令和7年7月16日付表彰） 厚生労働大臣表彰状 3団体 厚生労働大臣感謝状 7団体 ※伝達式 令和7年8月4日実施</li> <li>● 令和7年2月26日通知（書面開催） 議事 (1) 報告事項 令和6年度献血事業 (2) 協議事項 令和7年度神奈川県献血推進計画（案）</li> <li>◎ 県内各市町村 ホームページなどで、献血実施日、場所を事前に周知 啓発物品とリーフレット配布、併せて献血協力の呼びかけ依頼（2月）</li> </ul>

令和7年度献血推進計画	取組状況
<p>イ 血液製剤の安全性の確保</p> <p>県、市町村及び血液センターは、献血受付時の本人確認や問診の徹底及びH I V等の感染症の検査を目的とした献血の防止について、周知を図り、医療機関等での検査の受診を促す。</p> <p>ウ 血液製剤の在庫水準の把握と不足時の対応</p> <p>県及び血液センターは、血液製剤の在庫水準を随時把握し、在庫が不足する場合又は不足が予測される場合は、供給に支障を及ぼす緊急性を勘案し、各市町村への緊急献血の呼びかけなど必要な措置を講ずる。</p> <p>エ 献血ルームの広報</p> <p>県及び血液センターは、県民が献血ルームを利用しやすいように、SNSやホームページ等の様々な広報媒体の活用やリーフレットの配布等によりPRを積極的に行う。</p> <p>オ 献血関係機関会議の開催</p> <p>県は、より効果的に献血事業の推進を図れるよう、必要に応じて関係機関等と会議を開催し、献血推進に関する課題等について検討するとともに、情報交換の場として活用する。</p> <p>3 災害時における血液確保等について</p> <p>(1) 神奈川県地域防災計画に定める措置</p> <p>県及び日赤県支部は、「災害用血液製剤の確保に関する協定書」に基</p>	<p>◎ 血液在庫量の情報共有</p> <p>「緊急献血のお願い」のHP掲載実績なし</p> <p>◎県及び血液センターホームページ、血液センター・献血ルーム独自 X、Facebook、Instagram を活用した情報提供【再掲】</p> <p>○ 災害対応訓練における血液製剤搬送訓練の実施（令和7年9月2日）</p> <p>○ 関東甲信越ブロック血液センター合同災害対応訓練の実施（令和8年2月予定）</p>

令和7年度献血推進計画	取組状況
<p>づき、災害時において血液が円滑に供給されるよう「神奈川県地域防災計画」に定める所要の措置を講ずる。また、血液センターは災害時等における献血の受入れ体制を整備するとともに、県及び市町村と連携して広域的な血液の確保に努める。</p> <p>(2) 新興・再興感染症まん延下の対応</p> <p>血液センターは、新興・再興感染症まん延下においても、医療需要に応じた血液製剤の安定供給を図るため、安心・安全な献血環境の保持と献血者への感染防止を図るとともに、様々な広報媒体を活用して献血への協力を呼びかける。また、県及び市町村は、血液センターの取組を支援する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害時参集訓練の実施（令和8年1月～2月予定）</li> <li>○ 災害時「血液運搬要員」登録者の供給部門研修の実施（令和7年11月14日～11月26日 計5回実施）</li>   <li>○ 予約献血の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>安心してご協力いただき、混雑による密を回避するため、「予約献血」を継続して推進。</li> <li>血液センターHP、SNS、献血Web会員サービス「ラブラッド」を活用した献血ご協力の呼びかけ。</li> </ul> </li> </ul>